

令和 6（2024）年度事業計画

令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日まで

〈電話相談「認知症 110 番」事業〉

令和 5 年度の相談件数は 2 月末時点で 1000 件を下回っており、1035 件だった 4 年度並みにとどまる見通しです。6 年度は告知の強化等で 1100 件台に回復させていくことを目標とするとともに、研修等で相談員のスキルを高め、質の高い相談機関として長期的な評価を確立していくようにいたします。

孤独・孤立対策の一環として、「認知症の人と家族の会」との連携を強めていく予定です。

やはり最大の課題は年間一千数百万円に及ぶ所要経費の確保です。電話相談事業積立金が枯渇しない数年内に、新たに安定した資金を得る必要があります。企業・団体に対するアプローチ、各種助成への応募、個人からの寄付に関して対応を強化いたします。

〈シンポジウム事業〉

一般社団法人「生涯健康社会推進機構」と共催してきたオンライン公開講座を、「いきいき健脳をつくる」を主テーマとしてシリーズ化するようにいたします。内容を一層充実させ、固定ファンがつく催しに育てていく所存です。

〈調査研究事業〉

電話相談事業に関するデータを詳細に分析し、調査研究事業へと結び付けることを検討します。

〈財団報「新時代」の発行〉

令和 6 年度は 145 号～150 号を発行します。内容の充実はもとより、高騰した印刷・発送経費を抑えるため無料送付先の整理を進めるとともに、広告収入の増収を目指して各方面に働きかけていきます。

〈収益事業〉

令和 6 年度は昨年度の変更認定によって始めた収益事業「生涯健脳検定」の実質的な初年度となります。将来、収益の柱に育てていくことを前提にまずは知名度を高め、100 名以上の受検者を確保することを目指します。